

1 開催概要

日 時：令和5年11月12日（日）9：00～12：00 天候…くもり一時雨

場 所：万福寺おやしろ公園（麻生区万福寺3丁目3）

参加者：143名、うち意見交換会参加者13名

主 催：麻生区役所、新百合山手公園管理運営協議会



2 当日スケジュール

7時30分	会場設営
8時30分	受付開始
9時00分	開会式（区長、協議会会長あいさつ、全体説明、写真撮影）
9時10分	第1部（美化活動、イベント）開始
11時10分	第2部（意見交換会）開始
12時00分	終了 撤収開始
12時30分	解散

3 イベントの状況

（1）会場設営（7時30分～8時30分）

肌寒く小雨が降る中、準備を開始しました。8時30分には受付開始となるため約1時間で準備を完了しなければなりません。委託業者、企画課、道路公園センターがそれぞれ搬入した物品を各ブースに運んで会場設営を行い、協議会メンバーは美化活動の道具の準備や花苗を配置するなど、役割を分担して、作業を効率的に行い、無事に準備を完了しました。



（2）開会式（9時00分～9時10分）

あいにくの天候ということもあり参加者の出足が悪かったですが、予定どおり9時に開会式をスタートしました。区長と協議会会長のあいさつ、全体説明のあと、写真撮影を行いました。当初は活動開始前のラジオ体操を行う予定にしていたのですが、スペースが狭く、天候も悪いことから取り止めました。



第1部 B・C・D グループ

（3）草刈り・くず取り・集草（9時10分～11時00分）

B・C・Dの3グループに分かれて、草刈り、枝切り、くず取りと集草を行いました。使用する道具は鎌、鋏、のこぎり、レーキなど様々ですが、各グループの近くに道具箱を用意して数量の管理をするようにしました。グループリーダーの監督の下、危険の無いよう、スキルや経験に応じて作業を行い、ケガ人などはありませんでした。集草場所は2か所とも山のように草や木の枝が集まり、後日、道路公園センターのパッカー車が回収しました。



第1部 A グループ

(4) ごみ拾い(9時10分～9時30分)

Aグループでは、まず「段々広場」と「サクラの広場」のごみ拾いを行いました。当日は普段よりごみの量は少なかったですが、ペットボトル、空き缶、たばこの吸い殻などのごみがたくさん集まりました。



(5) 花植え(9時30分～10時00分)

協議会のボランティアさんに花の植え方を説明してもらい、みんなで約450ポットの花苗を植えました。また、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアのロゴ入りプレートに花の名やメッセージを書きました。



(6) しおり(10時00分～12時00分)

花壇の花を押し花にして、市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアのロゴ入りオリジナルしおりを作りました。老人会の皆さんや親子連れのご家族にも大人気のコーナーでした。



(7) たねだんご(10時00分～12時00分)

道路公園センターの職員と一緒にたねだんごを作りました。エコポットに入れて持ち帰ってもらいました。水やりなどの世話をして自宅でたくさん花が咲くといいですね。



(8) お絵描き(10時00分～12時00分)

白色の大きなシートに「かきまるくん」とたくさんの花を描きました。今後、色塗りを仕上げて防水加工をして公園に掲示したいと思います。



(9) 木工作(10時00分～12時00分)

しおり作りと人気を二分した木工作。公園の素材(木のスライス、どんぐり、松ぼっくり、その他の木の実、つるなど)を利用して、キーホルダーやリースなどを作り、身近な素材で楽しむことができました。



第2部 意見交換会

(10) 意見交換会(11時10分～12時00分)

令和5年度 麻生区地域デザイン会議の第2部では、「多様な主体が参加する持続可能な公園の維持管理と利活用の取組」をテーマに、第1部から引き続いて、ごみ拾いや草刈りなどに参加して感じたことや、公園の維持管理活動への参加者や担い手の創出、公園の利活用について意見交換を行いました。参加者からの意見のほか、傍聴者からも意見が出るなど、短い時間ではありましたが、有意義な意見交換を行うことができました。

司会：麻生区役所まちづくり推進部企画課長

進行：麻生区役所副区長

参加者：13名

(行政) 麻生区長、麻生区役所副区長、麻生区役所道路公園センター所長

(地元団体) 新百合山手公園管理運営協議会(3名)、万福寺町内会(2名)、新万福寺町内会(1名)、新百合山手西通り街路樹愛護会(1名)

(企業市民) アジア航測株式会社(1名)

(市民団体) 麻生プレーパークを創る会(1名)、あさお希望のシナリオ実行委員会(1名)



発言要旨

【公園の利活用について】 麻生プレーパークを創る会

- プレーパークでは、「子ども達が気付くことができない危険」を取り除きつつ、これといった遊具がなくても、里山の端材を使って遊具を手作りしたりしながら、子ども達が自由に遊んでいる。何もしない子どもがいてもいい。子ども達の居場所になるようにしている。そういった活動をしなが、公園の落ち葉を掃いたり、燃えないごみや空き缶などを拾ったり、子ども達に、この場所を使っていくためにはこういうことが大事だと伝えている。

【若者の参加について】 あさお希望のシナリオ実行委員会

- コロナ禍が明けて、学生も学業のほか部活動、サークル活動も活発になってきている。そういった中で地域活動に目を向けてもらうには、就職活動などの際にアピールできるようボランティア証明書を発行するなどが考えられる。自分の利益にならなくても、公園の維持管理など地域活動に興味がある若者も身近にいると思うが、情報が入っていないこともある。今日のイベントのように、学生が子ども達と一緒に遊ぶようなイベントも楽しくいいが、学生向けのワークショップなどがあると、より参加につながるのではないかな。

【おやしろ公園の維持管理について】 新百合山手公園管理運営協議会

- 新百合山手公園管理運営協議会は、万福寺おやしろ公園、万福寺さつやま公園、ふるさと緑地の3カ所を活動場所として、年3回の全体活動(グリーンフレンズフェア)のほか、草刈りや落ち葉掃き、樹木の剪定、花植え、水やりを中心に年30回程度の活動を実施している。ボランティア登録者は約80名いるが、常時活動できる人は10名程度と少なく、メンバーの固定化と高齢化が課題となっている。新しい会員が増えておらずリーダーの育成や世代交代が進まない、将来が危惧される状況ではあるが、四季折々の楽しみがあり、朝の散歩、ウォーキングや保育園・幼稚園児など多くの方が利用しているこの公園が、今後もしこいの場所として誰もが楽しめる公園であるよう、新たな仕組みづくりや活動範囲を再検討するなど、協議会としても考えていきたい。是非とも、ご理解、ご協力をお願いしたい。

【企業の参加について】 アジア航測株式会社

- グリーンフレンズフェアをはじめとして、公園の維持管理活動には、地域貢献活動として積極的に参加している。ただ、参加する人が固定化しているので、もっといろいろな人が出なければいけないと思っている。コロナ禍を契機に、会社としても働き方改革であるとか、多様な働き方がいわれている中で、コミュニケーションの不足が課題になっているので、こういった活動をコミュニケーションの場としても考えていきたい。社員の家族や子ども達が面白いと思う、楽しく参加できるイベントが必要だと思う。会社にも自然が好きな社員が多くいるので、そういう人が子ども達に教えるなど、協力しながらやっていきたい。参加企業を広げるという点については、関係企業への声掛けなどができると思う。

【地元の町内会・自治会として】 万福寺町内会

- 公園の維持管理については、藤葛がどんどん増えている。また、竹も大きく育つと切るのが大変、後の処理も大変なので、早めに抑えることも考えながらやっていかなければいけない。こういった活動に地域住民の関わりを増やしていくことについては、町内会に新しく入ってもらう人から、町内会に入るとどういったメリットがあるのかと聞かれることがよくあるが、メリットとかいうことではない。それと同じ話で、何のためにそれが必要なのかを理解してもらうことが必要だと思う。きれいな住みよいまち、そのようなまちに住めることが誇りであると自覚してもらうことが大事で、そういった理解があれば、まちを好きになるし、協力してくれると思うので、理解を促す発信が必要だと考えている。

【担い手の創出について】 新百合山手西通り街路樹愛護会

- 持続可能な活動メンバーを集めるのが難しいという話が先ほどあったが、当愛護会も11～12名程のメンバーがおり、LINEで連絡をして出られる人・出られない人の都合を調整しながら活動しているので、難しい状況は理解でき、共感している。考えてみると、今日集まった皆さんの中でも初めてお会いする方が多い。これだけ多くの個人・団体がせっかく集まったので、今はSNSなどで簡単につながることができる時代なので、そういう方々のネットワークづくりから少しずつ始めていったらどうか。

【近隣の町内会・自治会として】新万福寺町内会

- 1つの公園だけではなく、3カ所の公園の回遊性を高めていくことで公園の魅力が高まるのではないかと。長期的には公園や地域への愛着が、公園がきれいになる、汚くなっていくということに影響してくると思う。例えば、小中学校の子ども達が公園の隣にある十二神社の歴史を学ぶとか、この辺りを回るイベントを学校を通じて呼びかけて参加してもらうことで、保護者に連れてこられるのではなく、子どもたちが自発的に参加するようになり、世代間の関わりも増えるように感じる。また、この公園のような斜面を活かして、昭和音大や映画大学などの屋外演奏会・上映会などをしてもらう、小中学生の合唱コンクールをやってみるとか、若者を定期的に惹きつけるようなイベントを行い、子ども達の方から「あの公園のイベント行こうよ」という風になってくると活力が湧いてくるように思う。

【公園の情報発信について】傍聴者(美土里の会)

- 美土里の会として協議会の活動に参加している。また、協議会と協力しながら落ち葉を集めて子ども向けにカブトムシを養殖するといったことも行っている。去年はスズメバチが多く、通路を通行止めにしたりと重大なことは起きなかったが、草を刈る時にはそういう危険に遭遇する場合もある。また、今年は台風が少なく問題にはならなかったが、この山には古い木が多いので、枝が折れて落ちてくる危険もある。公園の魅力とともに危険などの情報発信も必要だと思う。

【公園の利活用と維持管理について】傍聴者(新百合山手公園管理運営協議会)

- 先ほどいろいろな話の中で公園の魅力など情報発信が必要といったことがあったが、SNSなどで新百合ヶ丘のお店の情報やイベントなど地域の魅力を発信しているサイトもあるので、そういうのもうまく活用できると思う。活動するボランティアを増やすということについては、ボランティアは報酬ではなく、自分が楽しくやるのが基本なので、どうしたら楽しめるかを伝えていく必要があると思う。ボランティアが自分達でフェイスブックなどのSNSを活用して発信できるといい。この辺りの緑地は牧野富太郎が命名したタマノカンアオイなどが咲いていたりして探して歩くだけでも楽しい。そういう情報を載せると取っていつてしまう人もいるかもしれないが利用する人が増えればそういったことにはならないと思う。

【本日を振り返って】新百合山手公園管理運営協議会

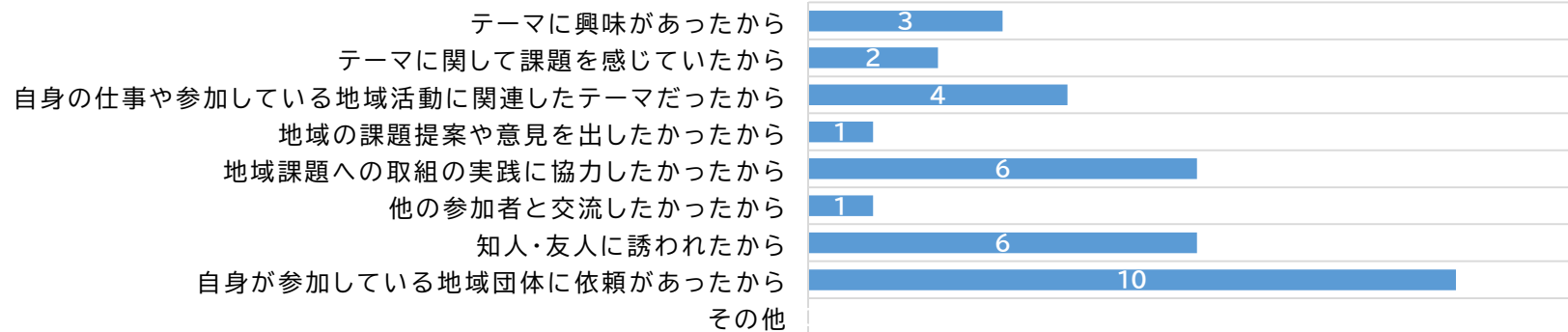
- 協議会では、年度当初に年間予定を立てており、この四季彩の丘では春と秋に花植えを行うこととしていた。その後、区役所企画課から一緒にイベントをやりたいと声掛けがあったので、イベントを通じて地域の方々が維持管理に参加してくれることは非常に価値があることだと思い、会長・副会長に承諾をいただき、一緒に準備をしてきた。草刈りの後に、あれだけ皆さんが楽しんでいる姿を見ることはなかなかないので、本当に良い企画になったと感じている。当協議会は道路公園センターとも日々情報交換や要望を聞いていただいたり区内でも連携が上手くいっている協議会だと聞いている。来年は川崎市が100周年を迎え、都市緑化フェアを開催することなので、このイベントが来年のいろいろな活動につながればいいと思う。新百合ヶ丘周辺で緑を活かしたいろいろなイベントを行い、地域が活性化することを望む。協議会としても今後もこのような取組を続けていきたいと思うので、引き続きよろしくお願いしたい。

【本日を振り返って】麻生区長

- 皆様のお話を伺って、まずは地域の方々に愛着をもっていただくことが出発点であると感じました。そこから地域の公園はみんなのものという意識が生まれて、維持管理活動への参加につながればいいと思います。しかしながら、それにはいろいろな積み重ねが必要で、時間がかかるということも感じました。その中でも、例えば、アジア航測さんのお話のように、企業の社員のコミュニケーションの場として公園を活用するだとか、あさお希望のシナリオ実行委員会さんのお話のように、公園の維持管理など地域活動への参加を就活でアピールするなどメリットにつながるだとか、他にもボランティアは自分が楽しくやるのが基本である、といったように、人はメリットがあるということが分かれば動くと思いますので、そういうところを我々の方で提起できるような活動を、今後、皆様と協力しながら展開できればと思っています。今回、このように協議会の皆様と連携して地域デザイン会議を開催させていただきましたが、このような形でできたのがとても良かったと思います。単なる一過性のイベントではなく、日常的に活動してくださっている方々がいるから公園がきれいなんだということが、少しでも参加された皆さんに伝わればよかったと思います。本日のテーマは、すぐに解決することは難しいと思いますが、引き続き、麻生区の緑を守っていくために、皆様と協力していきたいと思っていますので、今後ともよろしくどうぞお願いいたします。

令和5年度麻生区地域デザイン会議参加者アンケート結果（抜粋）

●なぜ参加しようと思いましたか（複数回答可）



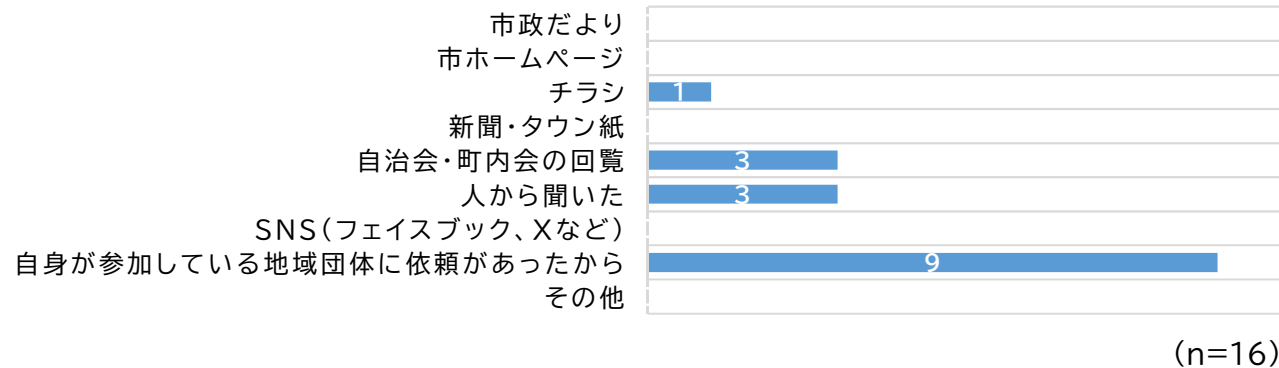
参加者の声

リース作り、しおり作り、どんぐり工作がお子様達に楽しんでもらえて良かったです。

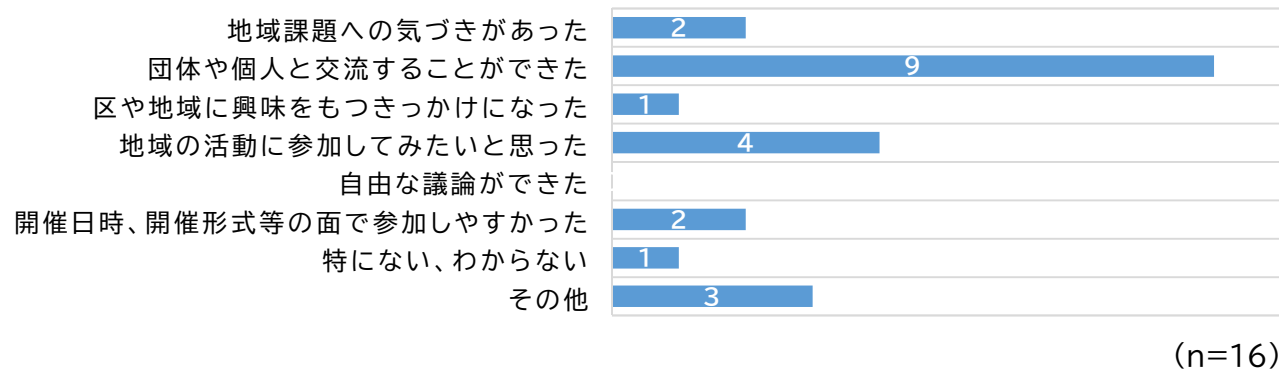
(n=16)

令和5年度麻生区地域デザイン会議参加者アンケート結果（抜粋）

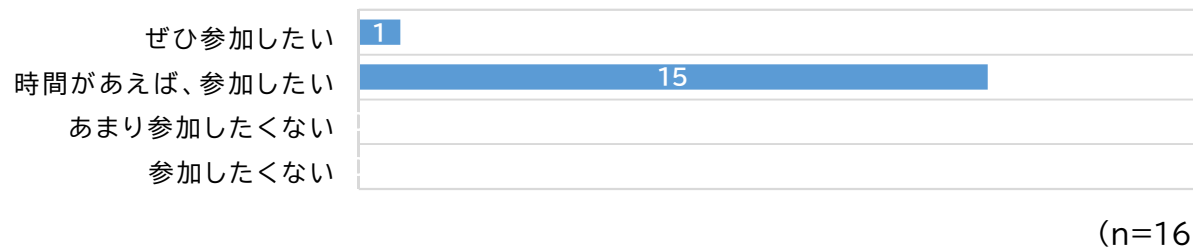
●イベントを何で知りましたか



●参加して良かったと感じた点はなんですか（複数回答可）



●今後、公園をきれいにする活動に参加してみたいですか



参加者の声

地元の公園がこのような活動で維持されていることを知る良いきっかけとなりました。

参加者の声

いつもきれいなお花が植えてあることは大変良いことだと思いますので、手伝いがあれば、また参加したいです。

参加者の声

思っていたよりもごみがあって驚きました。定期的に美化活動に参加したいと思います。

参加者の声

美化活動はなかなか参加者が集まりにくいと思うので大人にも子供にも楽しめるイベントをいれて参加者を増やす必要があると思います。このような活動が続ける事で自分の街を綺麗にしようという意識が住民の間にも少しずつ定着していけば参加者も増えていくと思うので続けていく事はいいと思います。

令和5年度麻生区地域デザイン会議参加者アンケートに寄せられたそのほかの意見

- 木に付けたネームプレートが古くなり壊れてしまっていたので（おやしろ公園側）、もう一度付け替えて欲しい。
- 掃除する場所が分かりにくかったので、案内が貼ってあると良かった。いつもきれいなお花が植えてあることは大変良いことだと思いますので、手伝いがあれば、また参加したいです。
- 子供たちは折りに触れごみ拾いをする機会がありますが、タバコのごみ、お酒の缶や瓶が多く、大人にこそごみ拾いに参加してほしいと思います。（余談ですがおやしろ公園には防犯の観点からも防犯カメラの設置をお願いしたいです。）
- とても素敵なイベントでしたが子供には時間が長くタスクも多かった気がします。（四季彩の丘、おやしろ公園のどちらかだけでも良いと思います。）
- デザイン会議という名称が子供には理解出来ず学校でお友達と「おやしろのイベント」と話していたようです。全体的に子供も参加してほしい（参加させたい）イベントなのかなと思いましたがターゲットとなる世代は違ったのでしょうか。
- 町の活性化のためにも住民参加の公園の美化には期待しています。もっと沢山の人が集えるイベントも是非企画していただきたいと思います。
- 参加者が多くて、きれいになったと思いますが、名札の裏作業場所の（A B C . a b c）の記入を（A B C . あいう）の方がわかりやすかった。
- エコバッグ、竹繊維のカリトリーセットのお土産嬉しかった。
- 川崎フロンターレ下部組織U12のお子様達が、マイクロバスで平日夜に新百合まで送迎して小田急線で、家まで帰っているので、今回のイベントに声をかければ、親子さんが、新百合ヶ丘や麻生区に親近感持ってくれると思いました。
- 地域デザイン会議に椅子に座っている大人で会議も大切ですが、お子様やパパママが参加していたので、立ち話でもいろいろな意見が集まるとおもいました。どのようにしたら、参加者が増えるかは、参加者側の意見の方が確実です。
- 持続可能な活動にするため、より多くの住民の方々に活動の楽しさを知ってもらうことが必要と思いました。
- オープニングセレモニーの関係者等の話がとても長く、全体の活動の3分の1くらいの時間を費やした。簡潔にして、活動時間に使えるように、区長の話など1人1分ぐらいにまとめて欲しい。寒く雨が降り出さないか、心配だった。
- 子どもがいるとなかなかデザイン会議に参加しづらいがこういうことをやってるんだということが子育て世代にもわかるので大事だなと思った。子育て落ち着いたら会議に参加しようと思います。
- 世田道の街路樹が消えがっている。



公園のこれからを考えよう

美化活動×イベント×麻生区地域デザイン会議

公園の美化活動に参加して、公園の維持管理活動への参加者や担い手の創出、公園の活用について考えてみませんか。花植えや押し花を使ったしおり作りなど、子どもが楽しめるイベントも行います。

日時

11月12日 日 9時～12時 (8時30分受付開始)

※ 雨天延期 11月26日(日)9時～12時 万福寺さとやま公園 詳細はお問い合わせください。

場所

万福寺おやしる公園

参加費

無料

参加申込



※ 10月15日(日)～前日までに申し込みフォームでお申し込みください。

持ち物

タオル・水筒

長そで・長ズボンをおすすめします。汚れてもよい服装でご参加ください。軍手は用意します。

当日の催し

- ごみ拾い
- 花植え
- 押し花のしおり作り
- たねだんご作り
- 意見交換会
- 草刈り
- 木工作
- ※ 草刈りと意見交換会の参加は任意です。



集合場所



主催 麻生区役所 新百合山手公園管理運営協議会
お問い合わせ 麻生区役所企画課 電話：044-965-5112
メール：73kikaku@city.kawasaki.jp

チラシ①おもて

地域デザイン会議とは？

地域デザイン会議



川崎市では、「区における行政への参加」の新たなしくみを検討するため、区民会議のリニューアルに向けた試行実施として、令和3(2021)年度から「地域デザイン会議」を開催しています。

麻生区では、これまで「新百合ヶ丘駅周辺の公園等を有効活用した協働のまちづくり」をテーマに3回の会議を開催し、「大人と子どもが一緒に取り組んでいくことが重要」、「利活用には維持管理が不可欠なので、しっかりと目を向けてほしい」など、さまざまなご意見やご提案をいただきました。

今年度は「多様な主体が参加する持続可能な公園の維持管理と利活用の取組」をテーマとして、令和6(2024)年度の川崎市市制100周年・全国都市緑化かわさきフェアに向けて、公園をこれからも持続可能なものとするための取組などについて意見交換を行います。

新百合山手公園管理運営協議会

新百合山手公園管理運営協議会



万福寺土地区画整理によって整備された新しい街「新百合山手」には、「万福寺おやしる公園」のほか、「万福寺さとやま公園」、「万福寺ふると緑地」をはじめとした、豊かな里山の継承を目的とした緑が数多く保全・整備されています。

新百合山手公園管理運営協議会は、区域内の公園・緑地を、地域コミュニティの場として活用し、ボランティアと行政の協働作業によって維持管理及び運営を行うことを目的に、平成19(2007)年に設立されました。

それぞれの公園で、年間を通じて活動を行っていますので、ぜひ、ご参加ください。スケジュールはホームページをご覧ください。

(問い合わせ先) 新百合山手公園管理運営協議会 044-969-7175

チラシ①うら

COLORS FUTURE ACTION
公園のこれからを考えよう
美化活動×イベント×麻生区地域デザイン会議

11月12日(日)

公園であそぼう！

花植え、公園の花や木を使った、押し花のしおり作り、木工工作、たねだんご作りができるよ！

ごみ拾いもするよ！

何をつくらうかな？

何の花が咲くかな？

11月12日(日) 万福寺おやしろ公園
9時～12時(8時30分受付開始)

※雨天延期 11月26日(日) 9時～12時
万福寺さくら公園 詳細はお問い合わせください。

- 参加費：無料
- 持ち物：タオル、水筒、汚れてもよい服装(長そで・長ズボン)
- 申し込み：必要
※10月15日(日)～前日までに申し込みフォームでお申し込みください。

主催：麻生区役所 新百合山手公園管理運営協議会
問い合わせ 麻生区役所企画課
電話：044-965-5112
メール：73kikaku@city.kawasaki.jp

チラシ②

【一緒に、ボランティア活動しませんか！】

ゴミ拾い&花植え
開催します♪

Green For All KAWASAKI 2024

万福寺おやしろ公園(世田道沿い)
『四季彩の丘・世田谷町田線植栽帯』

2023年 11月12日(日)
9:00～12:00
受付8:30～9:00

当日の予定
・ゴミ拾いをしたあと、花植え
・大人は、草刈り

花植えが終わったら
・押し花で、しおりづくり
・どんぐりや松ぼっくり工作
他にも沢山の遊びが待っているよ！

集合場所

(11時10分から区役所主催の意見交換会予定)

集合場所:万福寺おやしろ公園(世田道沿い)
ハイパーフィットネス向かいバンダー付近

事前申し込みお願いします！

(主催・申込先)
麻生区役所企画課 044-965-5112
73kikaku@city.kawasaki.jp
新百合山手公園管理運営協議会 044-969-7175
shinyuriyamate@coda.ocn.ne.jp

新百合山手公園管理運営協議会チラシ